

西建協だより

292号

2018年
11月

西

若手経営者の会現場視察について

成友興業株式会社 清水 寿敏

平成三十年十月十三日に西多摩建設業組合・若手経営者の会現場研修視察として、群馬県吾妻郡長野原町で施工が行われております八ッ場ダム建設工事現場に行ってみました。

八ッ場ダムは、利根川水系吾妻川において建設中の洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道及び工業用水の新たな確保並びに発電を目的とする多目的ダム（群馬県吾妻郡長野原町）です。

工期（完成予定年度）は平成三十一年度、建設に要する費用の概算額は約五千三百二十億円を予定しています。ダムの概要は堤高一六〇m、堤頂長一九〇.八m、堤体積一〇〇万m³、総貯水池容量一億七五〇m³、有効貯水池容量九千m³の重力式コン

クリートダムです。施工については外部コンクリートと内部コンクリートの打設時間を干渉させることなく独立させられる巡航 RCD（Roller Compacted Dam-Concrete）工法を採用しており、従来のRCD工法に比べて、コンクリート施工日数の短縮による、工費の低減や工事の安全性を図っていることに技術の進歩を実感しました。

資料館「やんば館」でのガイドによると、八ッ場ダム計画の端緒は、昭和二十二年に発生したカスリーン台風による大被害でした。利根川上流にダムを築いて洪水調節を行い、下流部の洪水被害の軽減を図るための治水事業の一環として、昭和二十七年に計画されました。

また、年々増え続ける首都圏の人口をまかなうための更なる水資源開発も大きな目的です。吾妻川の酸性水質問題で計画は一時中断となりましたが、水質の改善を受け、昭和四十二年に実施計画調査を開始し、昭和四十五年には建設事業に着手しました。

昭和六十一年に特定多目的ダム法の基本計画が告示された後、平成四年には地元長野原町と「八ッ場ダム建設事業に係る基本協定書」を締結し平成十三年に補償基準に調印、平成二十一年一月にはダム本体工事の入札手続に入りましたが、政権交代後の同年九月には八ッ場ダム建設事業について中止の方針を表明し、翌十月に入札が中止されました。その後個別ダムの検証がなされ、平成二十三年十二月には事業継続の方針が決定されました。こうした紆余曲折の経緯を経て、当初の計画から六十年以上経った平成二十六年八月、八ッ場ダム本体建設工事が契約され、平成二十八年六月からダム本体工

事に着手を開始しています。事業地域には名勝吾妻峡の一部も含まれるため、景観への配慮には特に注力して事業を進めています。周辺地域の自然環境への配慮として、地形・地質・水質・植物・動物など、様々な項目について現地調査をおこない、必要に応じて現地調査をおこない、必ずしも配慮が感じられませんでした。

ことが特徴です。代替地が分散してしまふと、それまでの地域コミュニティが分断されてしまふおそれがあるので地区ごとに代替地をつくり、移転後も生活が変わらないようにという配慮が感じられました。

技術は確実に進歩しており、省力化や生産性向上につながる要素は沢山ある、一方で技術を

使う我々がしっかり技術を理解・習得しまた地域社会のご理解と共存することが必要であるということを今回の見学会に参加して実感しました。

施工体験記

道路災害防除工事（29 西の9）

熊谷建設(株) 現場代理人 河村 道明

平成という年号最後の年に、「平成30年度東京都建設局長賞」という大変名誉な賞を頂きまして、ありがとうございます。この場をお借りいたしまして、発注者様、監理業務様、協力会社様、西多摩建設業組合安全パトロール員様等関係各位の皆様へ深く感謝し、お礼を申し上げます。

簡単ではありますが施工体験記を述べさせていただきます。

工事件名：道路災害防除工事（29 西の9）

工事場所：東京都西多摩郡奥多摩町氷川地内

(204号線-6斜面上)

工事期間：平成29年9月11日～平成30年3月28日

協力会社：五建工業(株)様、(株)DAiKEi 様、(株)明商様

本工事は、施工延長109m、主要工種は、ロープ伏工、ネット被覆工、仮囲い設置・撤去工、法面吹付工、ポケット式落石防止網設置工でした。

この工種を行う中で、最も苦勞した点は仮囲いを約110m道路センター側に設置し、その脇に仮電柱を建て既設架空線を仮移設し、その中で安全かつ効率的な作業を行うものですが、通行車両（路線バス、他企業の資機材運搬車両等）の通行を考慮して仮囲いを設置すると、当現場の車両が通り抜け出来なくなり作業効率が悪くなることでしたが、協力会社との綿密な打ち合わせと協力のもと、何事も無く無事に竣工出来ました。

また、作業を行った日原街道は、カーブが多く、この仮囲いを含めて約260mの区間を24時間片側交互通行で作業を行いました。この際、交通誘導会社、(株)DAiKEiの皆様には、雨であ



ろうと雪であろうと誘導を放棄すること無く工事期間の安全に、ご尽力頂きました事を、深く感謝しております。

最後に、今回の受賞を糧に、今後も熱意をもって工事に携わっていきたいと思います。

施工体験記

歩道設置工事及び電線共同溝設置工事

(27 北北一すいすい喜平橋交差点)

成友興業(株) 現場代理人 守重 鶴夫

この度は、平成30年度東京都建設局優良工事表彰という大変名誉ある賞を賜りました事、光栄に存じます。受賞に際し、この場をお借りしまして、発注者様、協力業者様、関係各位及び地域住民の皆様へ深く感謝すると共に、御礼を申し上げます。

本工事は、五日市街道の喜平橋交差点と交差する国分寺街道の改修工事です。通行車両、歩行者（通学路）及び自転車の通行も多く、バスの運行路線（5社）となっており、工事区域の上下線に4箇所のバス停も在ります。車の出入り箇所も多く、困難な施工が予想されました。また、信号機及び感知器（10基）の撤去・移設工事、警視庁直轄の監視カメラの撤去・移設（2回施工）工事等も含まれていました。さらに、街築の整備に伴い、

(2面につづく)



技術は確実に進歩しており、省力化や生産性向上につながる要素は沢山ある、一方で技術を

成できたと感じます。尚、工事期間中の工事に対する苦情は、一件もありませんでした。

また、設計図通りに現場が進まないことも予想された為、地域住民の利用しやすい道路造りと、その中に発注者が何を要求しているのかを取り入れた施工内容、方法を先手を打って提案し、完成に向けて工事従事者全員が一丸となり、鋭意努力した結集の賜物だとも感じています。

最後に、東京都北多摩北部建設事務所 工事第一課及び小平工区の関係各位におかれましては、「平成28年度東京都建設局優良工事表彰」

「平成28年度東京都北多摩北部建設事務所長表彰」に引き続き、連続して今回の受賞に至ったことにつきまして、心より深く感謝申し上げます。今後も、土木屋としての誇りを持ち、東京都の事業と共に、地域に貢献していく所存で御座います。



(歩道設置工事及び電線共同溝設置工事)

現道の道路高さとの高低差も生じてくるため、交通開放時の対策も事前に検討し、監督員と所轄警察に相談しながら対処すべき時期を見定めて施工する必要性もあり、昼・夜間の作業を交互に繰り返して施工しなければならない時期もありました。

このような状況下での施工となるため、工事着手前に必要以上に工事のPR版の配布、官民境界の高低差処理の確認、他企業との主導権をとった調整を綿密に行い、準備を進めました。工事の施工は長期になるため、明確な保安施設の設置と段差解消措置後の日々の点検を確実に実施して、現場に従事する全員に、「現場は、会社の顔である」ことを常に意識してもらい、現場及び第三者の安全を確保すると共に、見られても恥ずかしくない現場空間を築き上げることができたと思います。このような地道な活動の中から、監督員との信頼関係を築き上げると同時に、監督員を含む現場従事者全員による「一致団結したチームワーク」を築き上げ、その体制で地域に解け込み、密着したインフラ整備工事を達

◇あとかき◇

日増しに寒さが増し、標高の高いところでは葉が色づき始めているようです。

お休みの日に家族やお友達とドライブに出かけるのもいいですね。奥多摩湖あたりでは11月中旬頃、高尾山は11月下旬頃、昭和記念公園は12月上旬頃が見ごろのようです。ハイキングなどで体を動かし、地元の美味しい食を堪能し、日帰り温泉で日々の疲れをリフレッシュ！そんな休日をたまには過ごしてみたいものです。ですが、紅葉に見とれて事故など起こさないように注意しなければいけません。大切な休日を一日楽しく過ごすため、帰宅までは気を抜かず運転しましょう。「注意一秒ケガ一生」と言いますね。それは工事現場でも同じです。細心の注意を払い、公共工事に携わる者として安心・安全を第一に工事をしていきましょう。

～広報委員～

◇お知らせ◇

①平成30年度土木技術講習会

日時 平成30年11月9日(金)

18時30分～

会場 福生市民会館 小ホール

②第20回西多摩地区安全衛生大会(建災防西多摩分会)

日時 平成30年12月13日(木)

13時～16時30分

会場 羽村市 ゆとろぎ 小ホール

10月事業報告

- 9日 広報委員会 291号編集
- 9日 事業委員会
- 13日 西建協・若手経営者の会 日帰り視察研修
- 15日 総務委員会
- 15日 秋川流域委員会
- 17日 理事会
- 29日 労働衛生週間 現場パトロール(建災防西多摩分会)
- 30日 西多摩地区建設業界暴力団等排除協議
平成30年度総会及び研修(講演)

11月事業計画

- 5日 西建協若手経営者の会 役員会
- 7日 広報委員会 292号編集
- 9日 30年度技術講習会開催(災害対策安全委員会)
時間 18時30分～
会場 福生市民会館 小ホール
- 12日 事業委員会
- 日 総務委員会
- 15日 理事会
- 21日 30年度大型工事現場視察
視察先:東京港臨港道路南北線作業所
施工:大成建設㈱
- 23日 地域貢献事業(事業委員会)
訪問先 社会福祉法人 砂町友愛園
- 27日 多摩地区建設事務所との意見交換会開催
(三多摩建設業連合会)

◇日建学院青梅認定校(西建協)からのご案内◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』
＜青梅校2019年度開講講座＞

- ◎1級建築施工管理技士学科コース 毎週 火・木
講義日程 2月中旬～6月上旬 18:30～
- ◎1級土木施工管理技士学科コース 毎週 火・木
講義日程 3月中旬～6月下旬 18:40～
- ◎給水装置工事主任技術者講座 毎週 火・木
講義日程 7月下旬～10月中旬 18:40～
- ◎2級土木施工管理技士学科土コース 毎週 月・水
講義日程 3月中旬～6月上旬 18:30～
- ◎2級土木施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 6月下旬～10月中旬 18:30～
- ◎宅地建物取引主任者本科コース 毎週 水
講義日程 3月中旬～10月中旬
- ◎2級建築施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 8月中旬～11月上旬

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講(10年目)致します。

会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

- *詳細説明は随時致します。
- *先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
日建立川校 担当:澤田 080-9349-3870